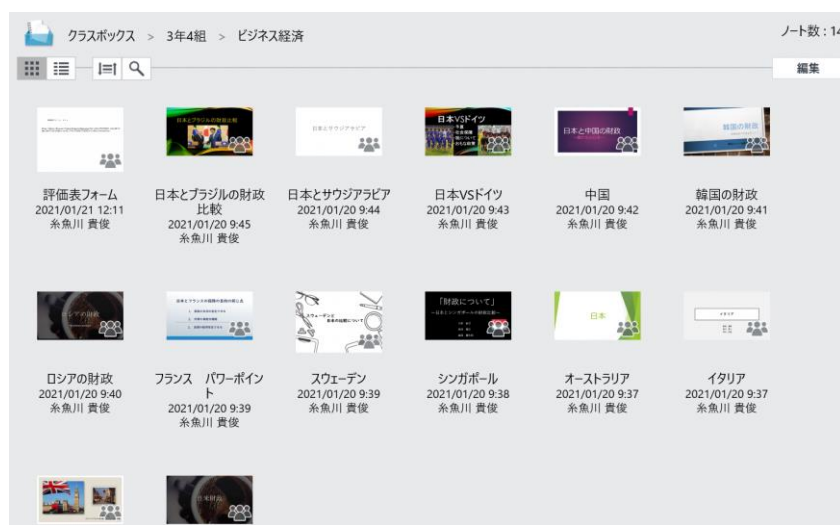


# 「ビジネス経済」学習指導案

## MetaMoJi・Forms 活用

- 1 日 時 令和 年 月 日 ( ) 第 限 ( : ~ : )
- 2 指 導 者
- 3 指導クラス 年 組
- 4 場 所 年 組教室
- 5 学 級 観
- 6 科目／単元名 ビジネス経済／経済政策
- 7 使用教材
  - ・「ビジネス経済」(実教出版)
- 8 単元の目標
  - ・我が国の金融市場での歴史的な流れを理解した上で、今日の世界の金融市場について、証券化や市場型間接金融をキーワードに考察します。
- 9 本時の展開

時間	指導過程	生徒の学習活動	教師の活動及び指導上の留意点
5分	タブレット準備	・タブレットを取り出し、MetaMoJiを立ち上げる。	
10分	前回の復習	日本政府の「資源配分機能」「所得配分機能」「景気安定化機能」にはどのような政策があったか教科書で確認をする。	MetaMoJiに取り込んでおいた教科書データを用い、主な政策をマーカーで記す。
30分	他国との政策調査	・日本政府のとした主な経済政策を選び、他国の経済政策を調べ、比較する。 ・グループ内で役割を決めてレポートを作成する。	机間巡視を行い適宜タブレットの使用方法、内容についての質問に答える。
5分	まとめ	・グループ内で今回の調査内容をまとめ、次回の目標を確認する。	レポートの進捗度を確認し、提出までの目標を確認する。



## ★MetaMoJiの活用について

### 【MetaMoJiの活用場面】

- ・教科書の確認。
- ・グループ活動によるレポート作成、個別調査メモ書き。

### 【MetaMoJi活用の意図】

- ・経済政策について、個人の調査をグループでまとめ、一つのレポート作成させるため。

<利点>

- (1) グループで一つのノートを作成していくため、グループの席が自席であってもそれぞれの進捗度が確認できる。また、3時間内（個人調査①、個人調査②、グループまとめ）にレポートが完成しなかったグループは自宅でも各自ノート作成が行える。

### 【MetaMoJi活用の成果】

- ・グループで一つのノートを作成するため、グループ内で進捗度の確認が図りやすかった。
- ・教員のレポートチェックもファイルの一つずつ確認するよりも、MetaMoJiの方が確認しやすい仕様であった。
- ・レポート発表の際、ポスターセッションのような形で発表を行ったが、生徒も「めくり」などを用い、効果的に発表することを心がける様子が伺えた。

### 【今後の課題】

- ・生徒はMetaMoJiを紙のノートのようにまとめていくことが新鮮で積極的に活用していたが、タブレットの扱い方、情報検索能力が日頃から意識している生徒とそうでない生徒で差が出てしまった。タブレットの扱い方、インターネットの情報が正しいものか、またその情報をどう活用していくかの指導が今後より一層重要になってくると感じた。
- ・生徒だけでなく、教員も授業内だけではなく、日常的に活用していくことが重要である。